

# 令和 8 年度研究推進計画

学校名 東広島市立川上小学校

学校長名 菅 ちあき 印

## 1 研究主題，研究内容・方法等について

### (1) 研究主題

主体的に学ぶ児童を育成する算数科の授業改善  
～学び方の指導と自由進度学習の手法を取り入れて～

### (2) 主題設定の理由

昨年度は、これまでの研究で培ってきた特別支援教育の視点を土台とし、全児童が学びに向かうことができる環境整備と学び方の指導を行った。これにより、自らの学びを調整できる主体的な学習者の育成を目指した。具体的には、自由進度学習の手法を導入して児童に複数の選択肢を提示し、学習計画表を開示することで、自分に合った学習方法を自己決定できる場を設定した。その結果、多くの児童が学習を自分事として捉え、学習を進める姿が見られた。また、学び方の指導においては、学習効果を高める学び方を「学び方モンスター」としてキャラクター化して共有した。これにより、児童が試行錯誤し、学び方を習得できる体制を整えた。

主体的な姿が多く見られるようになった反面、課題も残った。具体的には、単に課題をこなすことに終始する児童や、誤答を放置する児童、あるいは「分かったつもり」で先へ進んでしまう児童の存在である。要因を分析した結果、主に二つの課題が挙げられた。第一に、学び方が十分に身に付いていない点だ。「学び方モンスター」により学び方についての認知は進んだものの、状況に応じて自ら使いこなす段階には至っていない。第二に、自己の現状把握が不十分である点だ。自分の得意、不得意、できる、できないなどを適切に把握できていないため、課題意識を持って学習に取り組めていない児童も少なくない。

そこで本年度の研究では、昨年度の実践を継続しつつ、特に「振り返り」の活動を重点化したい。自己の学びを振り返ることで、成長の実感と学習の喜びを味わわせるとともに、まだ達成できていない点にも目を向けさせる。こうしたプロセスを経て、「次は〇〇したい」という明確な目的意識を持ち、自己の目標に向かって粘り強く取り組む態度の育成を図る。日々の学習活動の中に「振り返りと目標の設定」というサイクルを組み込むことで、楽しそうだからやるといった一時的な意欲向上に留まらない、持続的な学び続ける態度の育成を目指す。

### (3) 研究の仮説

算数科において、学び方の指導を行い、学習環境の工夫や振り返りと目標設定のサイクルを取り入れた授業改善を行うことによって、児童は主体的に学ぶことができるであろう。

### (4) 研究内容

- 学年部で教材研究、指導案の提案・検討を行う。
- 研究授業において抽出児童（3層からそれぞれ2名）のつまずきや学び方、手立てによる変容を見取り、協議を行う。
- 授業観察を行い、評価カードを通して教員の指導技術を客観的に分析し、改善を図る。
- 研修後に教職員アンケートを行い、研修の改善を図る。

### (5) 検証の指標

- 単元末テストの知識・技能において、平均 80 点以上の児童を低学年 80%、中学年 75%、高学年 70%以上にする。
- 算数科の学習についての児童生活アンケートで肯定的評価を 80%以上にする。
- 授業研究において授業評価の平均を 4 段階中 3 段階以上にする。

## 2 検証計画

- (1) 単元末テスト〔授業研究対象単元の単元末に実施〕
- (2) 算数科の学習についての児童生活アンケートの調査〔4月と12月年間2回実施〕
- (3) 各授業研究の際、観察した教職員による評価

## 3 研修計画

- 提案授業による実践的な研究を進める（全学年が提案授業を行う）。
- 全体研の提案授業の説明は全体で行い、提案授業のねらいや手立てを共有しておく。
- 研修部会（学年ブロック）を組織し、各学年の情報を交換する。
- 授業改善のための学年部会を月3～4回程度設ける。
- 研究の検証や分析をまとめ、研究紀要を作成する。

4月	上旬	理論研修①（4月9日） 今年度の研究及び取組についての確認
	中旬	理論研修②（4月16日）
	下旬	理論研修③（4月23日） 算数科の学習についての児童生活アンケートの実施・実態把握
5月	上旬	理論研修④（5月7日）
	中旬	理論研修⑤（5月14日）
	下旬	理論研修⑥（5月28日）
6月		指導案作成
7月	下旬	全体研①の指導案検討（年）（7月22日） 全体研②の指導案検討（年）（7月24日） 全体研③の指導案検討（年）（7月28日）
8月	下旬	学年研①③指導案検討（8月27日） 学年研②④指導案検討（8月28日） ※1～3年、4～6年に分かれて検討する。
9月	上旬	全体研①の指導案説明（年）（9月10日）
	中旬	全体研①（年）（9月17日）
	下旬	全体研②の指導案説明（9月24日）
10月	上旬	全体研②（年）（10月1日）
11月	上旬	全体研③の指導案説明（11月5日）
	中旬	全体研③（年）（11月12日） 学年研①の指導案説明（11月19日）
	下旬	学年研①（年）（11月26日） 学年研②の指導案説明（11月26日）
12月	下旬	学年研②（年）（12月3日） 学年研③の指導案説明（12月3日） 学年研③（年）（12月10日） 学年研④の指導案説明（12月10日）
	中旬	学年研④（年）（12月17日） 算数科の学習についての児童生活アンケートの実施・実態把握・分析 研究についての教職員アンケートの実施・検証 研究授業の成果と課題を分析・まとめ 研究紀要作成
1月	下旬	研究紀要完成
2月	上旬	研究紀要を用いた研究の振り返り
2月	下旬	来年度の研究計画の立案